

平成21年度佐賀県小・中学校学習状況調査 分析ツール

諸調査集計・分析システム > 県調査分析ツール > 使い方マニュアル

分析ツール(平成21年度データ用)を使ってみませんか？

Q 分析ツールとは何ですか？

- A 「分析ツール」とは、各学校のほとんどの公用コンピュータにインストールされていると思われる表計算ソフト(Microsoft® Excel、以下エクセル)ファイルです。このファイルに、佐賀県教育センターで独自に、エクセルのマクロを用いた、自動的に操作手順を実行するプログラムを組み込んでいます。各校種に応じて、小学校用(ファイル名:H21小学校ツール.xls)、中学校用(H21中学校ツール.xls)があります。

「分析ツールダウンロード」(小学校用: ShoTool_k21.zip 中学校用: ChuTool_k21.zip)をコンピュータに保存し、解凍すると関連ファイルが入ったフォルダが現れます。そのフォルダ内に諸調査集計・分析システムから、自校データ(CSVファイル)をダウンロードして保存します。

そして、「分析ツール」(H21小学校ツール.xls H21中学校ツール.xls)を開くと、自動的に自校データを読み込んで集計表やグラフが作成され、新しいエクセルファイルとして名前を付けて保存されます。

※マクロとは、表計算ソフトなどで、特定の操作手順をプログラムとして記述し、自動化する機能のことです。

※CSV(Comma Separated Values)とは、データをカンマ(",")で区切って並べたファイル形式です。表計算ソフトやテキストエディタで読み込むことができます。諸調査集計・分析システムからも、このファイル形式でデータをダウンロードすることができます。

Q 動作環境などは？

- A 下記OS及びアプリケーション環境で、「教科分析ツール」(エクセルファイル)のマクロが、想定した操作手順を自動的に実行し、問題なく動作することを確認しています。

Windows XP operating system + Microsoft® Excel 2003/2002

Windows Vista™ + Microsoft® Excel 2007

ただし、上記環境における動作を100%保証するものではありません。また、ウィルス対策ソフト、OS、アプリケーション等のセキュリティ設定、あるいは想定外の使用者の操作により、正常に動作しなかったり、コンピュータに不具合が生じたりする恐れがあります。佐賀県教育センターは、本ツールの使用により生じたいかなる損害も補償しません。

また、学校データをダウンロードするために、教職員ポータル及び諸調査集計・分析システムにログインできるインターネット接続環境が必要です。

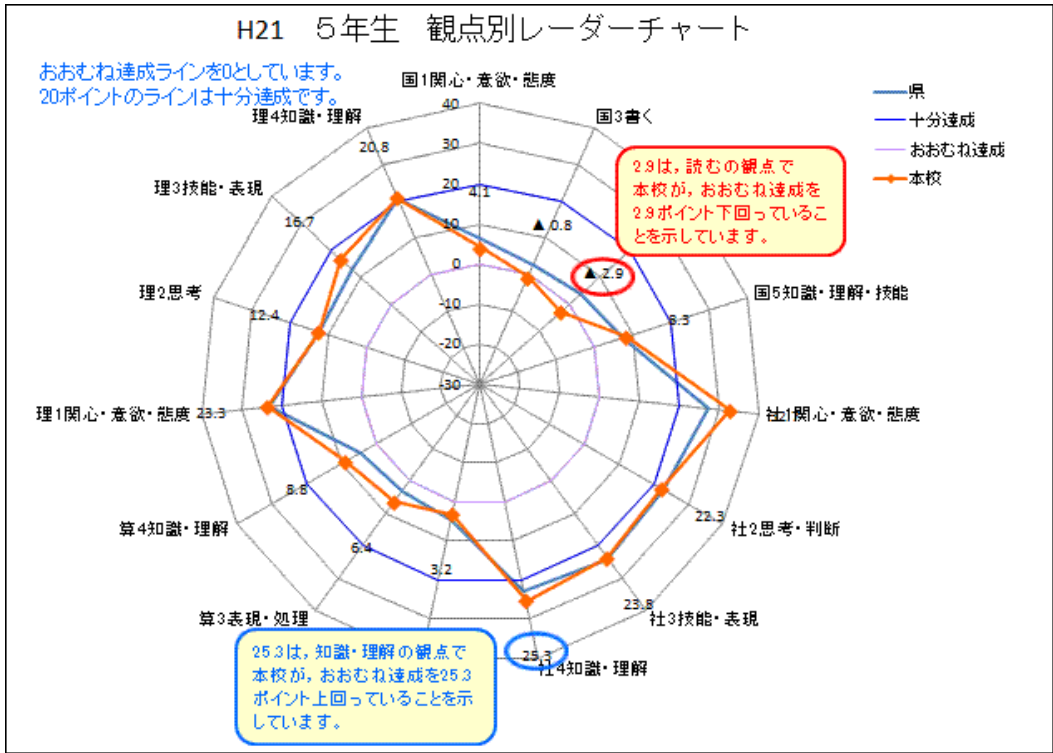
Q データをどのように見られるのですか？

- A 分析ツールを実行すると、「教科」「意識」「クロス」の各分析グラフが作成されます。

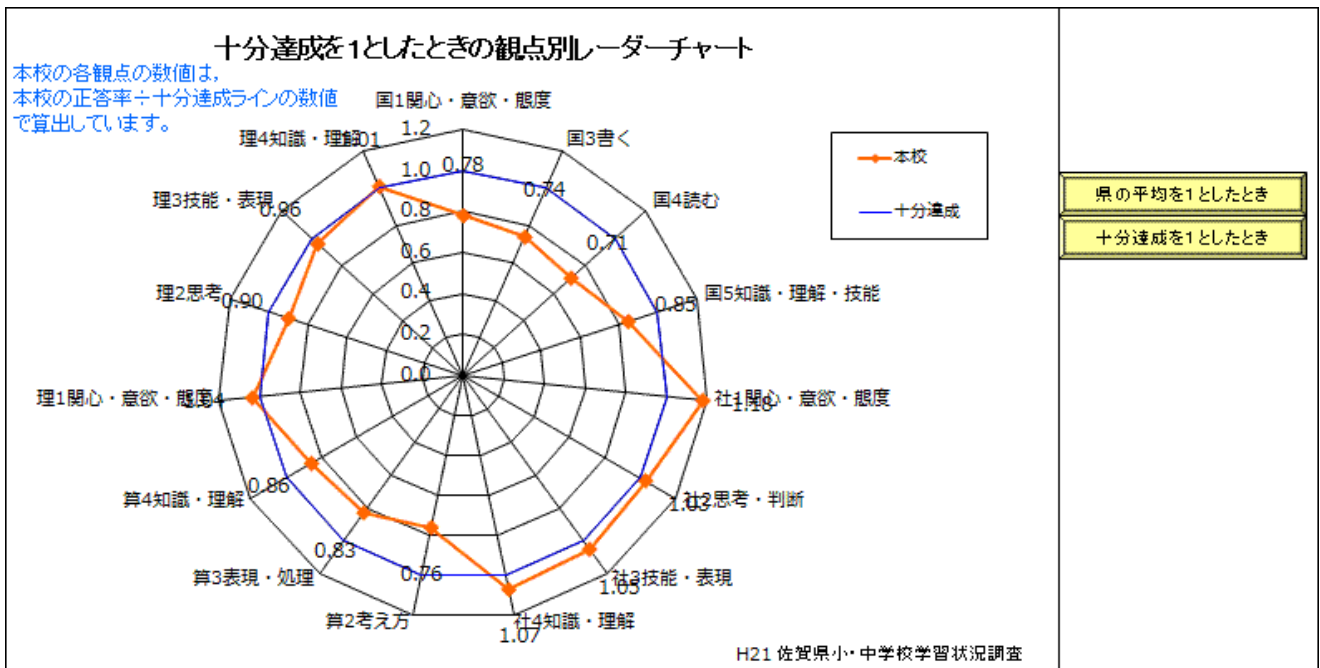
教科分析では

観点別にみた学年の到達状況をレーダーチャートに表し、各観点のバランスを視覚的に把握することができます。また、各教科の設問ごとの正答・準正答・誤答・無解答・その他の状況、評価観点別正答率、内容領域別正答率、「十分、おおむね、要努力」の児童生徒の割合を示すグラフを一覧できる集計表が作成され、調査結果をコンパクトにまとめて見ることができます。

例1 観点別レーダーチャート

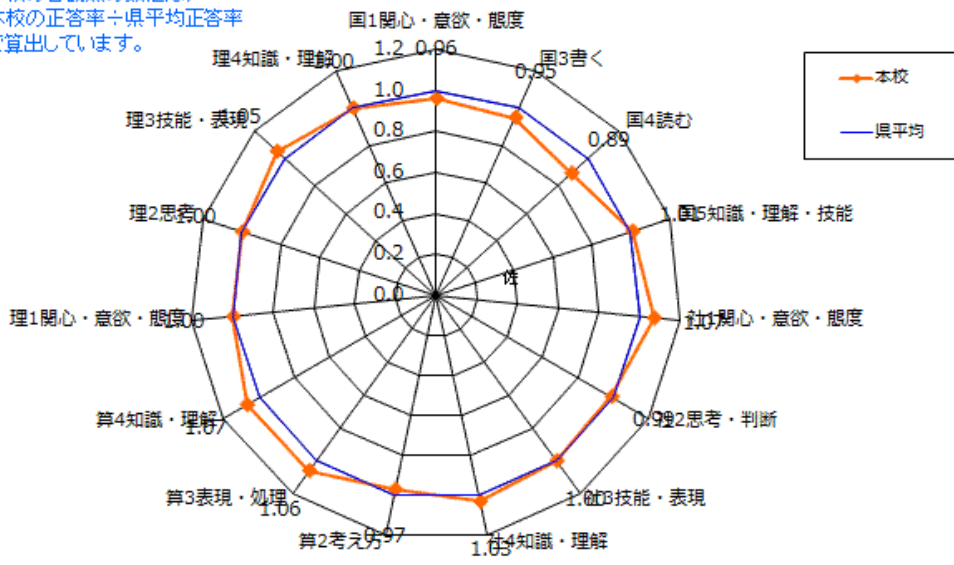


今回新たに、「十分達成を1としたときの観点別レーダーチャート」及び「県平均を1としたときの観点別レーダーチャート」を追加しました。初期画面には「観点別レーダーチャート」の下に「十分達成を1としたときの観点別レーダーチャート」が表示されます。レーダーチャート右側の「県の平均を1としたとき」ボタンをクリックすると「県平均を1としたときの観点別レーダーチャート」が表示されます。



県平均を1としたときの観点別レーダーチャート

本校の各観点の数値は、
本校の正答率÷県平均正答率
で算出しています。



H21 佐賀県小・中学校学習状況調査



県の平均を1としたとき

十分達成を1としたとき

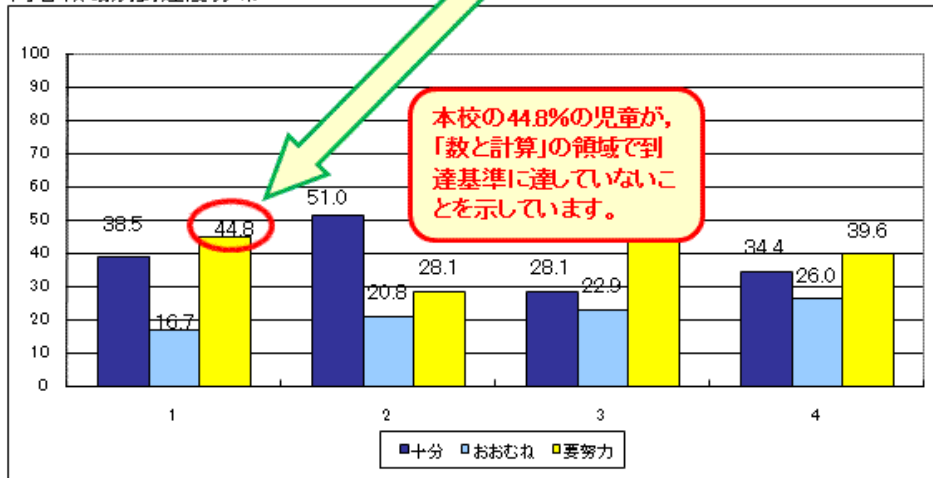
例3 内容領域別の正答率と到達度分布

内容領域別正答率

領域コード	内容領域	正答率	十分達成	おおむね達成
1	数と計算	67.6	78.6	58.6
2	量と測定	73.7	80.7	60.7
3	図形	56.1	76.7	56.7
4	数量関係	59.7	76.7	56.7

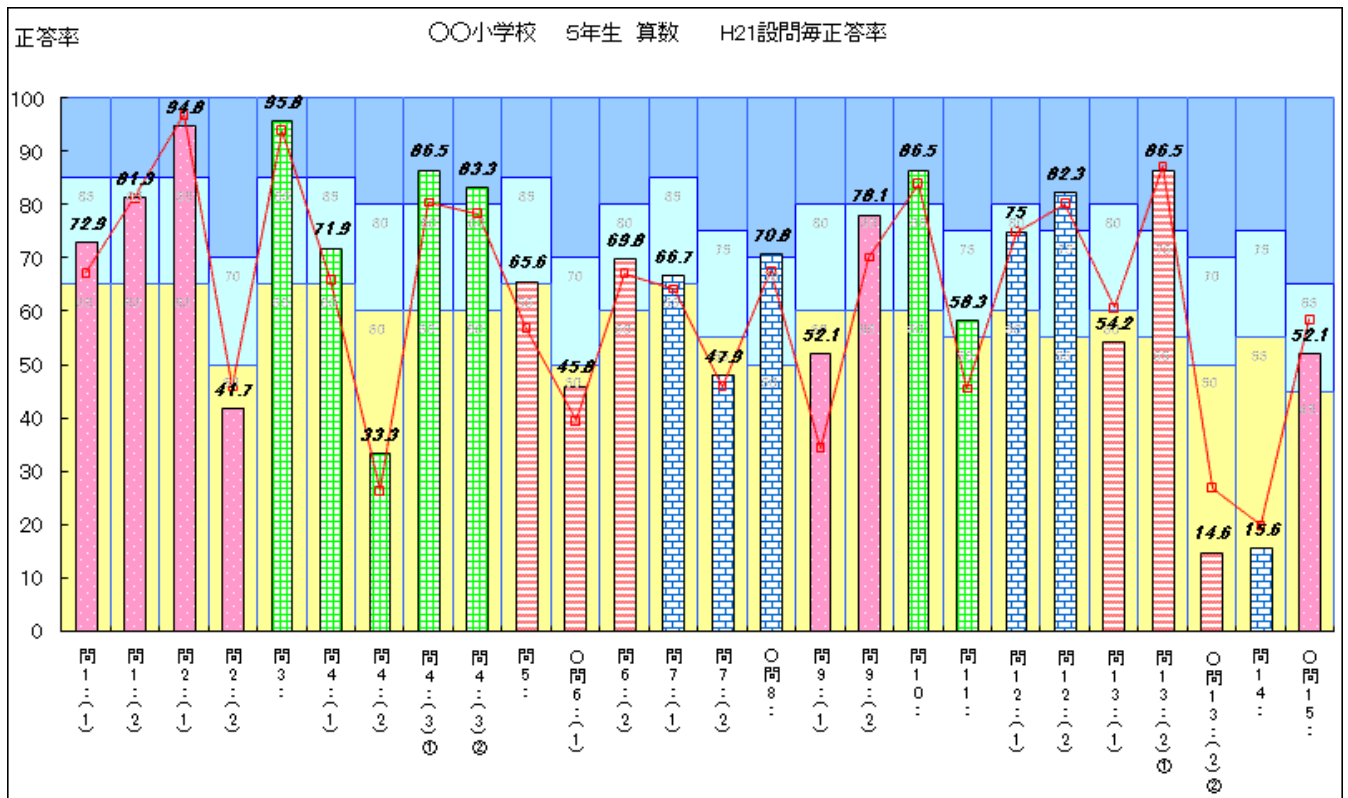
学年のトータルでは「数と計算」の領域は、おおむね達成ですが…

内容領域別到達度分布



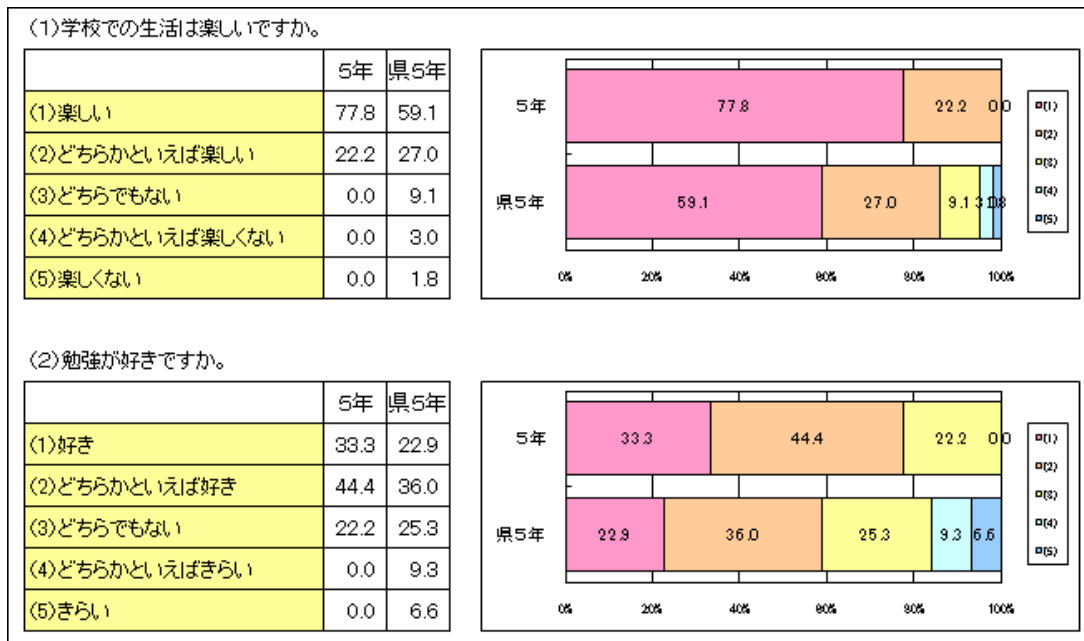
本校の44.8%の児童が、「数と計算」の領域で到達基準に達していないことを示しています。

例3 設問毎正答率グラフ



意識分析では

例4 「意識」グラフ

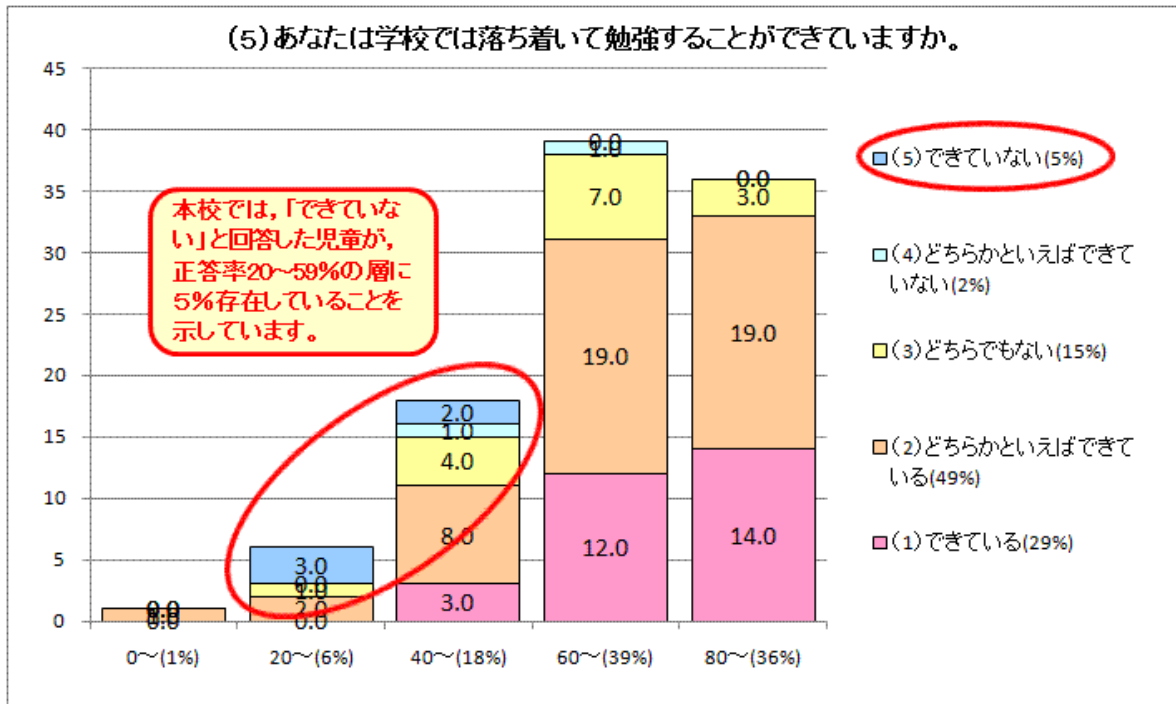


クロス分析では

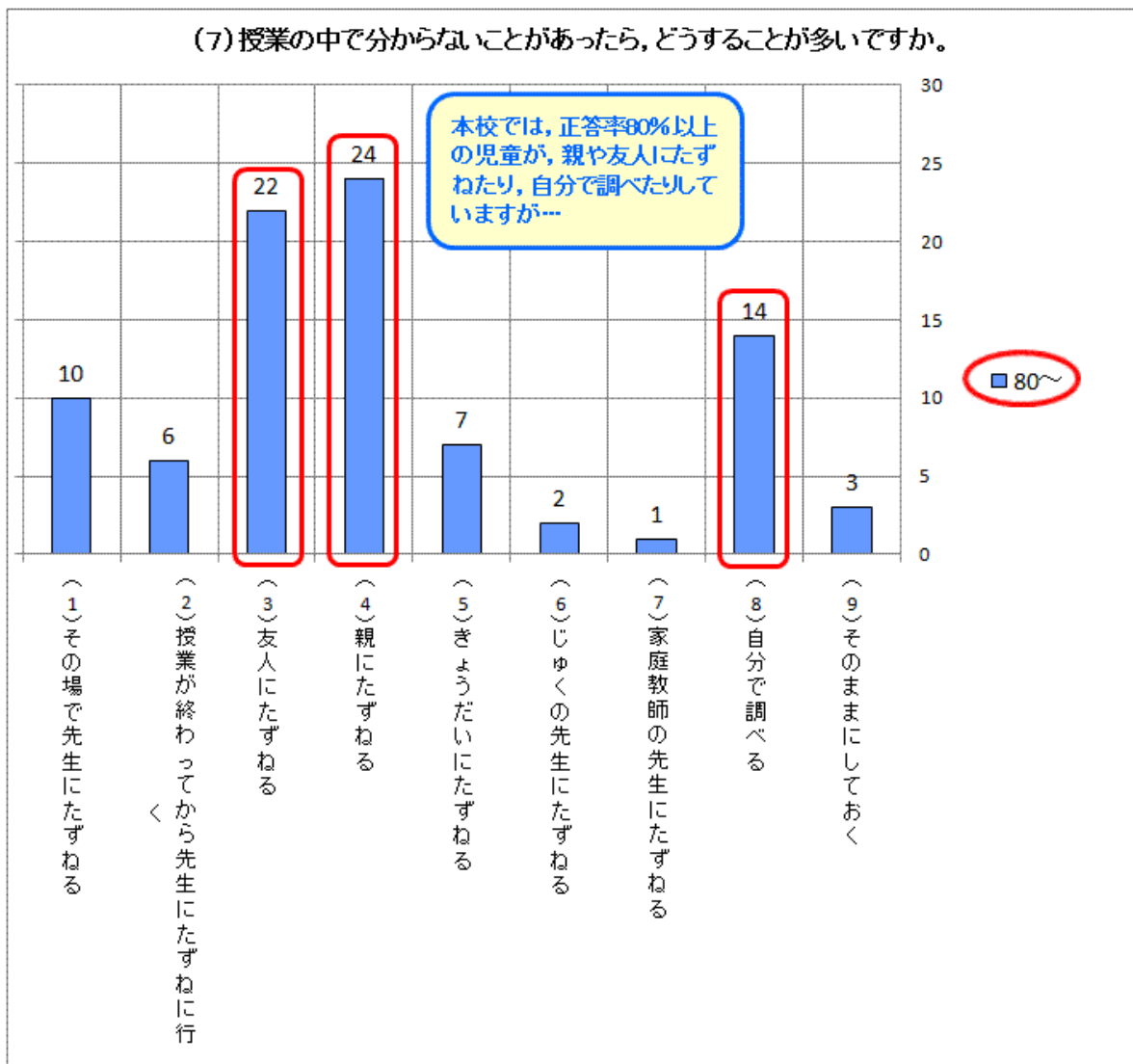
教科毎の正答率分布を5段階のヒストグラムで表示し、これらの段階ごとに、児童生徒意識調査の質問項目における回答状況を確認することができます。例えば、「正答率が60～79の層で、勉強が好きと回答した児童の割合が最も高い」「正答率が低い層ほど、勉強が分からないとき、そのままにしておく回答した児童の割合が高くなっている」などといった状況が分かります。「凡例」の各項目をクリックすると、選択した回答が各階層に示める割合を、グラフ上で動的に切り替えながら確認することができます。

今回新たに、全教科の平均正答率とのクロス分析資料を追加しました。

例5 回答選択肢が単一の場合



例6 回答選択肢が複数の場合



Q 大まかな作業の流れは？

- A まず、「分析ツールダウンロード」(小学校用:ShoTool_k21.zip 中学校用:ChuTool_k21.zip)を、ローカルコンピュータに保存します。このファイルダブルクリックすると、フォルダができます。このフォルダの中に複数のエクセルファイルが入っています。

※ サーバやネットワーク上のドライブに保存した分析ツールを直接実行しても、マクロが正常に動作しません。必ずローカルコンピュータに保存して、分析ツールを実行してください。

次に、自校の児童生徒意識、設問毎正答率、評価観点別／内容・領域別正答率の各CSVファイル(学年用)を先ほど解凍してできたフォルダ内に保存します。

最後に、フォルダ内のエクセルファイル(小学校はH21小学校ツール.xls 中学校はH21中学校ツール.xls)をダブルクリックしてマクロを実行します。これだけで、集計表やレーダーチャートが作成された新しいエクセルファイルができあがります。

Q 「分析ツール」はどこにありますか？

- A 1 下のリンク先にあります。

リンクをクリックして、当該校種用の「分析ツール」ファイルをローカルコンピュータに保存してください。

分析ツール(21年度データ用)

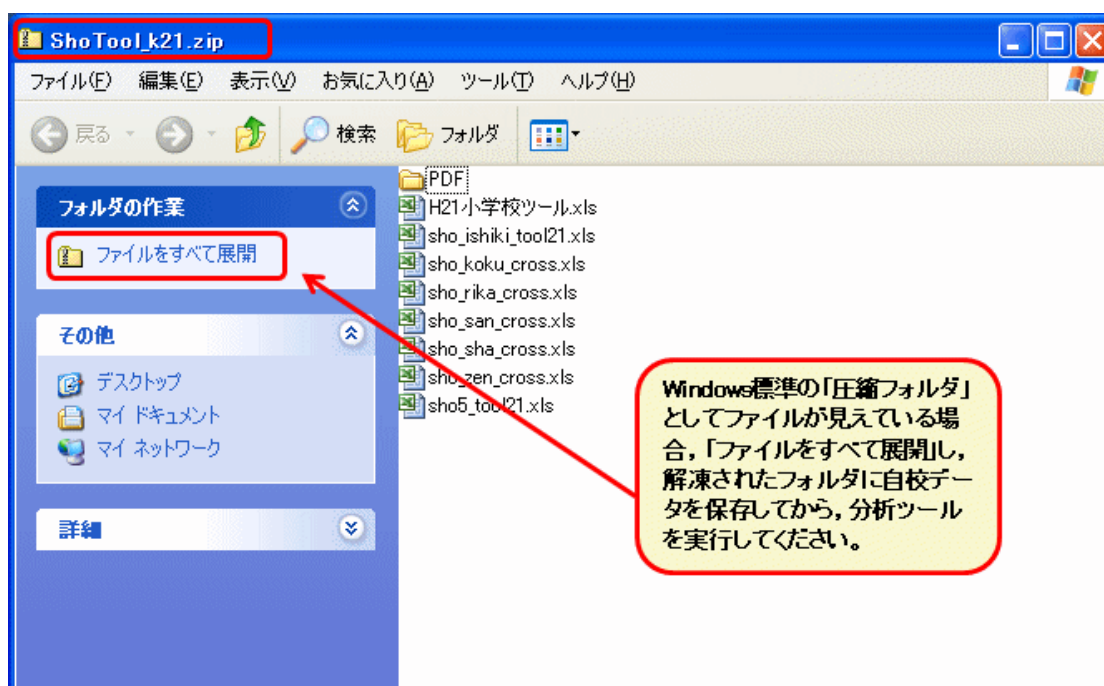
[小学校用\(ShoTool_k21.zip\)](#)／[中学校用\(ChuTool_k21.zip\)](#)

※ 小学校用で6.6MB、中学校用で18.4MBほどのファイル容量があります。通信環境により、ダウンロード時間がかかることがあります。

2 ダウンロードが完了したら、ファイルをダブルクリックしてください。(専用の解凍ソフト等により解凍する場合は、ステップ5へ。)

3 圧縮フォルダが現れます(例:ShoTool_k21)。

4 「ファイルをすべて展開」をクリックしてください。(Windows標準の解凍機能を使う場合)



5 フォルダの中に、次のような名前のフォルダ及びファイルが入っていることを確認してください。

[小学校の場合]

PDF(フォルダ)

H21小学校ツール.xls

sho_ishiki_tool21.xls

sho_koku_cross.xls
sho_rika_cross.xls
sho_san_cross.xls
sho_sha_cross.xls
sho_zen_cross.xls
sho5_tool21.xls

Q 自校データはどこにありますか？

- A 諸調査集計・分析システム＞学校トップ＞各種分析データをクリックしてください。
下図のメニューが表示されます。

The screenshot shows a menu with the following items:

- [クラス別正答率](#)
クラス・学年・県の正答率と到達基準が、内容・指導法改善に役立つ教材・指導案・実践事例
- [教科別正答率](#)
クラス・学年・県の教科正答率と到達基準が表
- [児童生徒意識調査分析](#)
学校・県それぞれの児童生徒意識調査と教科正答率をクロスさせた集計結果が表示されます。
- [児童生徒意識調査ダウンロード](#)
学校の児童生徒意識調査回答状況CSVファイルがダウンロードできます。
- [設問毎正答率ダウンロード](#)
クラス・学年・県の設問毎正答率を集計したCSVファイルがダウンロードできます。
- [評価観点、内容領域別正答率ダウンロード](#)
クラス・学年・県の内容・領域別正答率、評価観点別正答率を集計したCSVファイルがダウンロードできます。

A callout box with a red border and a speech bubble tail points to the menu items. The text inside the callout box reads: "各種分析データのメニューから、これらのCSVファイルをダウンロードしてください。設問毎正答率ダウンロード、評価観点、内容領域別正答率ダウンロードにおいては、クラスのデータも必ず(学年1クラスでも)ダウンロードしてください。"

Q 自校データのダウンロードはどのようにすればできますか？

- A
- 1 「児童生徒意識調査ダウンロード」をクリックしてください。
 - 2 「ファイルをダウンロード」ボタンをクリックしてください。
 - 3 保存先のフォルダ(例:「ShoTool_k21」)を選択し、「保存」ボタンをクリックしてください。
 - 4 同様に、「設問毎正答率(学年)」及び、「設問毎正答率(クラス)」、「評価観点、内容領域別正答率(学年)」及び「評価観点、内容領域別正答率(クラス)」も同じフォルダに保存してください。
 - 5 次のような名前のCSVファイルがすべて保存されていることを確認してください。例:「小学校」の場合

児童生徒意識調査クロス集計.csv

設問毎正答率(学年).csv

設問毎正答率(クラス).csv

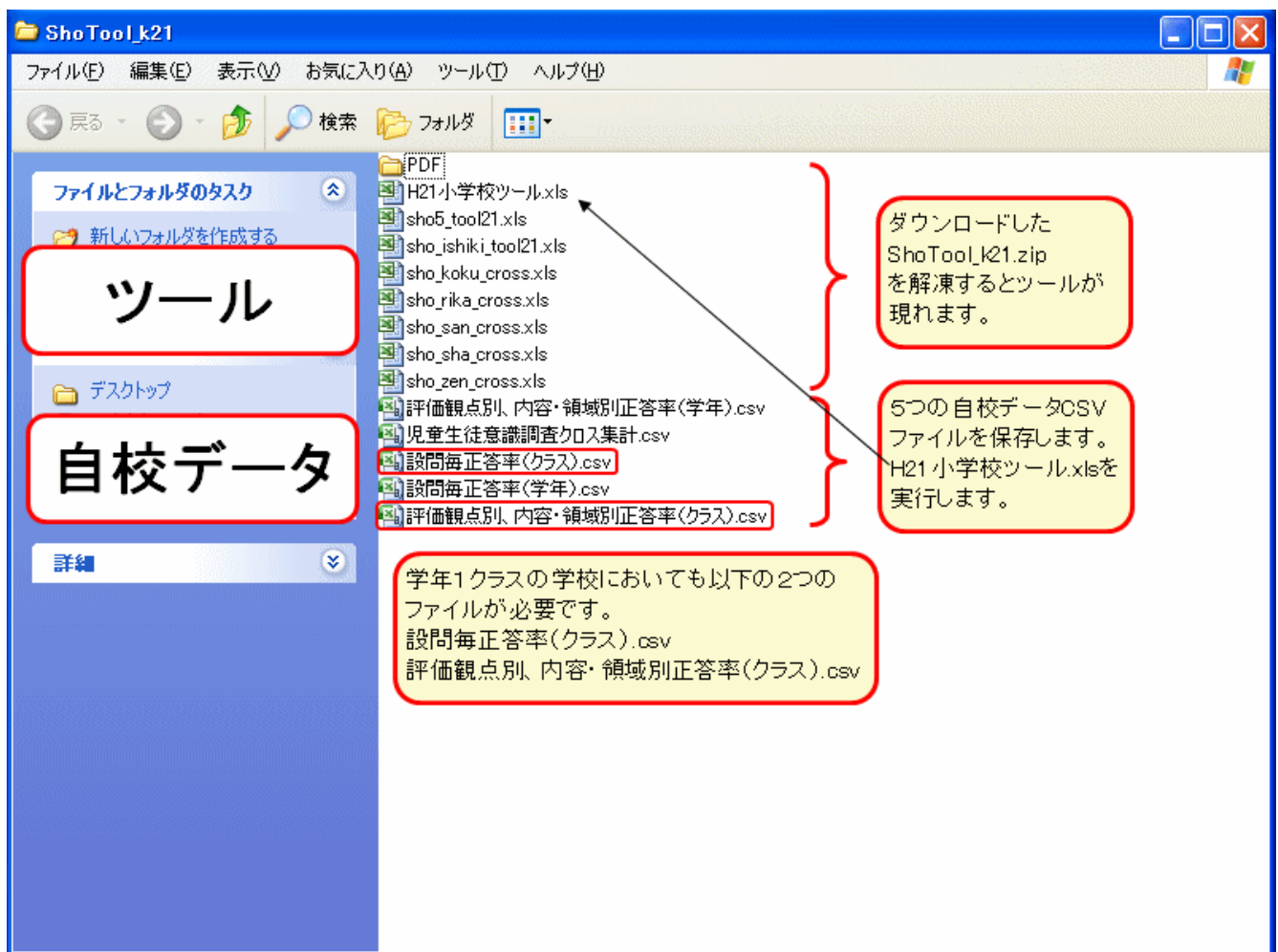
評価観点別、内容・領域別正答率(学年).csv

評価観点別、内容・領域別正答率(クラス).csv

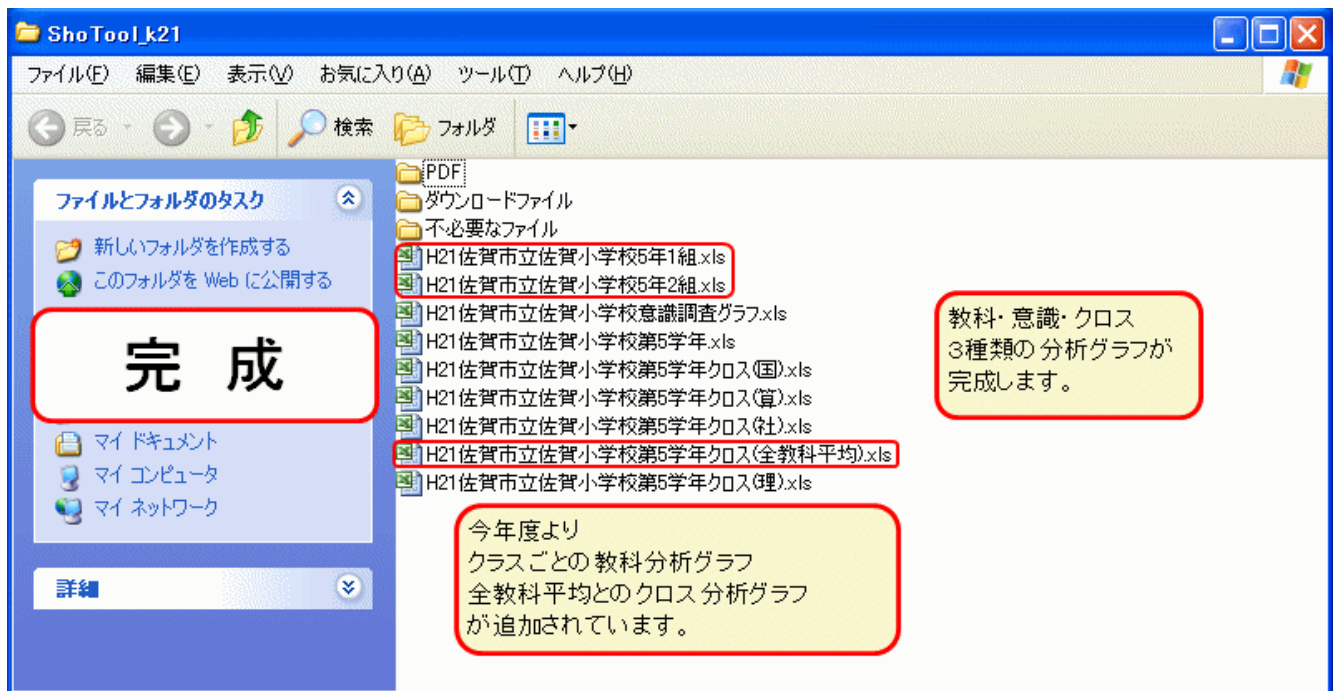
これで、必要なファイルがすべて揃いました。下図は必要なファイルが保存されたフォルダのイメージです。(下図は、フォルダのメニューバーの「表示」を「詳細」にした例です。それぞれのファイルの種類を区別して説明するために図を編集しています。そのため、アイコンの配置は実際とは異なります。)

「H21小学校ツール.xls」を開き、マクロを実行すれば、学校・学年名の付いた新しいエクセルファイルが完成します。

※ 「分析ツール」を解凍せず、圧縮フォルダ内に自校データを入れてしまった場合は、「H21小学校ツール.xls」を実行してもマクロは動きません。しかし、この時点で「ファイルをすべて展開」して実行すれば正常に動作します。



- 各フォルダには以下のファイルが入っています。
- PDF…エクセルファイルからリンクを張っている問題構成表等のファイル
 - ダウンロードファイル…各学校でダウンロードしたファイル
 - 不必要なファイル…各学校のファイルを生成するためにダウンロードしたツール



Q どうやってマクロを実行するのですか？

- A
- 1 「分析ツール」エクセルファイル(例:H21小学校ツール.xls)をダブルクリックしてください。
 - 2 セキュリティ警告ウィンドウが表示されたら、「マクロを有効にする」ボタンをクリックしてください。
 - 3 マクロに組み込まれた操作手順が開始されます。処理が完了するまでしばらくお待ちください。
 - 4 教科・意識・クロスの3種類のエクセルファイルが新しく作成されます。これらが完成したファイルです。

Q これまでの作業手順は、データを見るたびに行うのですか？

- A
- いいえ。一度だけ行えば完了です。あとは完成したエクセルファイルを、児童生徒の指導にあたる先生方が、必要に応じてコピーしたり、印刷して分析したりするなど、児童生徒の学習状況を把握し、今後の指導計画を立てるための資料として有効に活用してください。

Q 「分析ツール」についての問い合わせ先は？

- A 「ボタンをクリックしたけれど、反応がありません」「マクロのセキュリティはどうすればよいですか」など、「分析ツール」に関するお問い合わせは、佐賀県教育センター研究調査担当までお願いします。
- 電話 : 0952-62-5211(内線396)
ファックス: 0952-62-6404
メール : kenkyu@saga-ed.jp

最終更新日: 2009年6月4日